

JR 美祿線の早期完全復旧について

中国部会提出

6月30日から7月1日にかけて活発化した梅雨前線の影響により線状降水帯が発生し、記録的な豪雨となった。

この豪雨により、JR 美祿線においては、厚狭川に係る橋梁が流出するなど甚大な被害が発生し、運休を余儀なくされている。

現在、西日本旅客鉄道株式会社は、被害の全容把握に努めているが、復旧方針については、被害状況がわからない段階であり明確にしていない。

被災した JR 美祿線は、地域住民の通勤・通学や通院等の日常生活を支える欠かすことのできない交通基盤であるとともに、観光振興など地域経済活動の重要な基盤でもあるため早期の完全復旧が求められる。

については、国において十分な財政支援など特段の配慮を行い、JR 美祿線の早期完全復旧が図られるよう強く要望する。